



## おすすめ品種紹介 第35回

全農アグリ情報室では、生産者にあらためて定番としておすすめしたい品種・新定番となりうる品種について、種苗会社にアンケートを実施いたしました。毎号、担い手生産者向けのおすすめ品種を品目ごとにご紹介いたします。

# チンゲンサイ

昭和47年の日中国交正常化による中国ブームで伝わった中国原産野菜で、その後、国内生産が始まると中国料理店では在来の漬け菜に代わって利用されています。1983年に農水省が統一名称を改め、青軸のものはチンゲンサイ（青梗菜）、白軸のものはパクチョイ（白菜）としました。令和3年度の作付面積は2,100ha、主な産地は茨城県と静岡県で収穫量の40%以上を占めます（作物統計調査）。近年は、江戸時代から伝わる小松菜と交配した新しい野菜が育成されています。

### 葉色が濃緑、低温伸長性に優れる



すいくん  
**翠熟**

(株)サカタのタネ

低温伸長性に優れる。生育は極早生で、草姿は立性。葉は大葉・極濃緑で、葉枚数は比較的多い。葉柄は長く、首部の締まりが比較的好い。尻の下膨れがなく、芯が柔らかく、収穫調製作業がしやすい。

#### 栽培のポイント

一般地の10月下旬～1月上旬播種向きで、高温期の栽培は生育が早すぎるため避ける。晩抽性はあるが、「武帝」などの晩抽品種に比べると劣るため、冬まき春収穫の作型では注意が必要である。

### 耐暑性に優れ、白さび病に耐病性



らいこう  
**頼光**

(株)サカタのタネ

耐病性に優れる中～大型の品種。生育は中早生で、草姿は立性。葉は大葉・濃緑で、葉枚数が多い。葉柄はやや長めで、首部の締まりがよい。萎黄病や白さび病に耐病性がある。

#### 栽培のポイント

一般地の3月下旬～5月播種、8～10月播種向きで、酷暑期の栽培は節間伸長や石灰欠乏症の発生がみられるので避ける。寒冷地では、晩春～秋口までの幅広い時期での播種が可能。

品種	作型	地域	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		
			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
翠熟	初夏どり	一般地						○	○		■	■															
	冬どり																				○	○		■	■	■	■
	春どり		○					■	■	■																	○
頼光	初夏～冬どり	寒冷地						○			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	■	■	■	■	■	
	初夏どり							○			■	■	■	■													
	秋～春どり		■	■	■	■												○		■	■	■	■	■	■	■	
冬大賞	秋～春どり	一般地	○	■	■	▼		■	(ハウストネル栽培)	○	■	■							○	▼	■	○	▼				

○：播種 ▼：定植 ■：収穫

●問い合わせ先

(株)サカタのタネ お客様相談室 Tel.0570-00-8716(ナビダイヤル)

(株)武蔵野種苗園 国内営業部 販売課 Tel.03-3986-0715

